

# 多様な働き方が出来る 魅力ある職場

山下 真美恵 税務職員 | 2006年採用  
Yamashita Mamie 香椎税務署 法人課税部門



## Question 1 現在の仕事内容について教えてください

私は、法人課税部門で法人税、消費税、印紙税など様々な税金の内部事務を担当しています。具体的には、税務署の窓口、電話での税務相談や質疑への対応、提出された届出書や申請書などの内容確認を行っています。

窓口、電話対応の際には、質問の意図をきちんと把握し、納税者の方に理解してもらえるよう、出来るだけ分かりやすく説明することを心掛けています。「ありがとう。あなたが対応してくれて良かった。」という言葉をいただいた時の感動は忘れられないものであり、同時に、やりがいのある仕事だと感じています。



## Question 2 子育て支援制度について教えてください



国税の職場では、育児中の職員のために様々な制度があります。「産前産後休暇」では、産前は6週前から産後は8週間の休暇があります。また、男性職員の「配偶者出産休暇」や「育児参加休暇」といった特別休暇もあり、ほとんどの職員が取得しています。また、育児休業は出産した日から最大3年間取得することが可能で、家庭のライフプランに合わせて育児休業期間を設定できます。さらに、職場に復帰する際には研修もある上、子供の小学校入学前まで「育児時間」や「育児短時間勤務」を選択でき、生活スタイルによって勤務時間を調整することができます。他にも、子供の体調不良の際には「子の看護休暇」を取得することができます。

## Question 3 どのようにして仕事と子育てを両立していますか

私には、2人の子供がいます。第一子、第二子とも約1年間育児休業を取得しました。復帰後は、夫が出勤時間をずらして、子供達を保育園に送り、私は育児時間を利用して、勤務時間を1時間短縮し保育園へのお迎えと夕食の準備等を行っています。育児時間を取得していることで子供との時間も大切にでき、仕事と両立できていると感じています。

また、育児に対して職場の理解もあり、私と同じように多くの育児中の職員が気兼ねなく子育て支援の制度を活用しています。



## メッセージ



仕事と家庭の両立は、もちろん楽ではありませんが、国税の職場では、ワークライフバランスを重視した環境ができており、結婚や出産などライフスタイルの変化に対応した働き方ができる魅力ある職場です。育児休業から復帰する際には、久しぶりの業務で不安もたくさんありましたが、上司や同僚のフォローもあり、スムーズに職場復帰することができました。みなさんが、同じように育児等で大変な時期には、今度は私たち先輩職員が全力でサポートしますので、是非、国税の職場を目指してみてください。